

# 一般質問発言通告書

発言順位 11番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 15番 岡田 美喜子

質問事項 1	教職員の健康管理
具体的内容	教職員の働き方改革が推進されていますが、2020年1月以来、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校での感染症対策や今年度から始まったGIGAスクール構想による教育現場の急速な変革等、相変わらずの多忙を極めています。 また、県内の教職員の長期療養者数をみると、精神疾患以外の悪性新生物等の長期休職者も増えている状況にあり、教職員の健康管理は重要な課題と言えます。 教職員の健康管理の状況について伺います。
	1 三島市の教職員の健康診断の実施状況と結果による課題と取り組みについて
	2 定期健康診断に便潜血検査・前立腺特異抗原検査・クレアチニン・ヘモグロビンA1cなどの健診項目を加えることはできないか。
	3 女性特有の病を見逃さないために、乳がん検診や子宮頸がん検診を学校において一括して申し込むことなどの仕組みづくりができないか。
	4 保健室サポート員の配置について
質問事項 2	保育の中で気になる子と保護者への寄り添い方
具体的内容	保育の現場では、発達障がいと診断されているわけではありませんが、「気になる子」は年々増えているというのが実感のようです。 三島市では、1歳6か月と3歳児健診が実施されていますが、それ以降は、就学時健診まで統一した検診がない状態となっています。乳幼児の心身の成長発達は著しく、3歳児健診では問題が指摘されず就学時健診まで早期対応の機会を逃す場合もあります。 「気になる子」への対応について伺います。
	1 「気になる子」の現状をどのように捉えているか。
	2 保育所への加配の現状と可能性について
	3 保育現場へ臨床心理士等の専門家の派遣について（公立・私立ともに）
	4 保育所等で5歳児を対象とした悉皆健診を行うシステムを構築できないか。
質問事項 3	本格的な旅行再開に向けて行うべき備え
具体的内容	2020年、新型コロナウイルス感染症の拡大により外国人観光客の入国が制限され、日本人観光客についても県をまたぐ移動が自粛になるなど、観光地はもとより三島市の経済は大きな影響を受けました。 感染症対策やワクチン接種等により、コロナ感染者数が落ち着きを見せていますが、第6波に備えながらも、近い将来の本格的な旅行再開に向けて、落ち込んだ観光需要の回復に取り組んでいかなければなりません。
	1 来訪者を呼び込むための取り組みについて
	2 地域観光回復のため旅行者や地域住民の不安を軽減するための取り組みについて
	3 眺望地点や観光スポットにスマホスタンドを設置できないか。